



短い言葉にあふれる思い…



◇東洋大学が募った「現代学生百人一首」の入選作品が発表されました。その一部を紹介します。

◎通学路 寝ぐせが揺れる そよ風に ノンフィクションの 「今日」が始まる

◎辛いから 逃げたくなるけど 逃げないと 決めた私は 今日も靴をはく

今日何が起こるのかなんて誰にも分からない。だからこそおもしろい。だからこそ今日を一生懸命生きるのだ。

◎今朝もまた 「宿題やった？」と 母の声 母に合わせて インコが真似る

◎本読めば 時間がどんどん すぎていく 不思議な力が 私を連れ去る

◎地下深く 埋もれし薬 微生物 根を張り咲いた ノーベル賞

◎二日間 連続受賞 ノーベル賞 努力が実った 奇跡の瞬間

七転び八起き。毎日の努力がやがて実を結ぶ。家族の励ましを背に自分の道をひたすら歩むのみ。

◎震災時 わけが分からず 泣いていた 今は違うぞ 役に立つとき

◎震災の 記憶を持たぬ 人たちと 同じ道行く 小さな違和感

◎「またきてね」 言ってもらった あのコトバ 神戸と東北 絶えない絆

◎助け合い なぐさめ合って 支え合う 人ってそういう 生き物だから

昨日 1 月 17 日は阪神淡路大震災が起こった日。あれから 21 年。東日本大震災からはまもなく 5 年。失われた多くの尊い命から、私たちは何を学び、何を伝えていかなければいけないのか。

◎戦争を してはいけないと 訴える 語り部さんの 顔は必死だ

◎伝えたい 原爆の持つ 恐ろしさ 祖父に代わって 次の世代へ

◎七十年 そんなに長い 月日かな 忘れていくのは 罪ではないか

◎教科書を あと何ページ めくったら 本当の平和は おとずれるのか

世界に真の平和がおとすれると消えると言われている広島平和公園の「平和の灯」は、戦後 70 年経過した今もまだ燃え続けている。私たちにできること、しなければならぬことは何か、一人一人がもう一度考える時。

◎なにげない 言葉一つに トゲはえて いじめと気付かぬ 言葉の怖さ

◎間違いを 修正テープで 直すよう うわべに過ぎぬ あなたの謝罪

単なる遊び・悪ふざけ？ そんな言葉でごまかさなで！ いじめられた側の心の傷はそう簡単には治らない。

◎体張る 桜の戦士 五郎丸 世界に響いた キックのフォーム

◎五輪選手 超人類と 思っていた 次に出るのは 自分の世代

今年のリオデジャネイロは無理でも、4年後の東京には出場できる人がいるかも。

◎庭に出て さると戦う おばあちゃん おそわれないでね 心配だから

今年はさる年。だからと言って、家や畑に来られても…。ところで、さるをいのししや鹿に読み替えると…。西吉野でも要注意！



◇これまで培ってきた言語力とみずみずしい感性を生かして、みなさんも自分の気持ちを短い言葉（五七五の 17 音や五七五七七の 31 音）で表してみましょう。